

2026年2月例会

筑波山山麓の散策と梅林

開催日	2026年2月25日(水)
集合場所	筑波山 登山口 つくばリンリンロード筑波休憩所
集合時間	9時10分 スタート
コース	登山口(筑波休憩所) ~ つくば道 ~ 蚕影山神社 ~ 六所大仏 ~ 六所皇大神宮 ~ 六所の滝 ~ 旧府中街道 ~ 筑波山神社 ~ 観光案内所(昼食) ~ 筑波山梅林 ~ 登山口
ゴール時間	14時35分
距離	19 km (登り加算 実16.7km) 団体歩行
参加者	9名
天候	雨と強風

ウォーキング状況

一週間前の天気予報は雨、少しの期待を持って毎日検索していましたが、最後まで変わりませんでした、恵みの雨となりました。

それも結構降っています。

個人的には集合場所で記念撮影を撮って解散と想着ていましたが、集合した人の熱い熱意に負けてスタートしました。



登山口から山麓の道を「筑波道」迄歩き、筑波道を神郷地域まで下り、市営筑波山麓神郷駐車場の横を通り、蚕影山神社(こかげ)に到着。



蚕影山神社は金色姫伝説がある「常陸国三蚕神社」の一つで、茨城東海岸縦断で訪れた鵜の岬の近くの日立市川尻にある蠶養神社に次いでこの訪問です。残りの一つは神栖市の蚕霊神社となりました。

約200段の階段を登り参拝をしました。

参拝後、足元に注意し階段を降り、六所大仏に向かいました。

風が非常に強くなり、傘に風圧を受けながらの歩行です。



六所大仏で記念撮影。お天気が晴れなら、バックに筑波山の女体山、男体山が見える絶好の撮影ポイントですが？

六所皇大神宮跡に向かいます、ここから上りが始まります。

山影に入ったので風の影響が少なくなったのが救いでした。



明治時代 廃社前の旧六所皇大神宮（配置図）

六所皇大神宮跡を参拝後、六所照庵の軒先下で小休憩です。

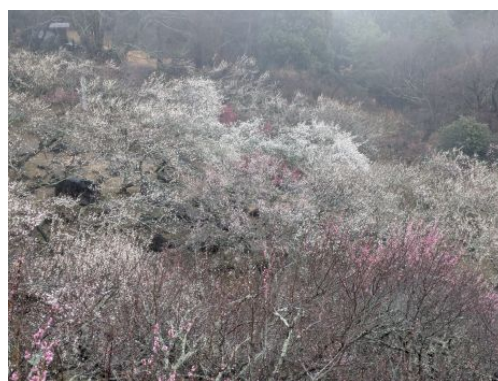
この神宮跡は筑波地方の総社として神武天皇4年に創建されたと伝えられる霊地跡です。明治41年に明治政府の神社統廃合で廃止されました。

上記右図が廃止前の社殿配置だそうです。

休憩後、裏山にある六所の滝を見学。



筑波山にはこの他、赤滝、白滝があるそうなので探して見てください。
滝を見学後は六所皇大神宮跡に戻り、筑波山神社を目指して再出発です。
途中、梅と河津さくらが迎えてくれます。また、ふれあいの里への分岐手前
と筑波山温泉手前に急な上り坂がありますが、意外と皆さん難なくクリアー
して筑波山神社へのアクセス道路に到着。
ここは旧府中街道で江戸時代末期の水戸の天狗党が筑波山で蜂起した時に
使われた道です。近くに筑波城もあったそうです。
筑波山神社、大師堂に参拝後、観光案内所にてお昼休憩です。
天気に恵まれ、来訪者はいなく、ゆっくり昼食及び職員の観光案内を聞くこと
が出来ました。
最後に梅林見学です。入口の駐車場から梅林の東屋迄、無料バスが運行され
ているので、これを利用し登り、東屋で記念撮影。
ゆっくり梅林の中を下り、おもてなし館で最後の休憩、ホットコーヒーで体が
温まりました。



後は登山口迄一気に下り坂を降り、無事ゴールしました。

以上
記 松崎 寛